



一年で日の出から日の入りまでの時間が最も短い（＝夜が長い）日が冬至で今年では12月22日(木)ですが、日の入り時刻は、冬至の少し前が最も早く、今年が一年で最も早く日の入りとなる時期です。そのため、部活動終了後の下校時刻の頃にはかなり暗くなってきました。

折しも明後日(12/11)から「年末の交通安全県民総ぐるみ運動」も始まります。交通事故防止については、学校でも十分指導しておりますが、ご家庭でもご確認をお願いします。

◇人権教育講演会・保護者会

12月7日(水)、人権教育講演会（生徒・保護者対象）と保護者会が開催されました。保護者の皆様には年末のお忙しい中、多数ご参加いただき誠にありがとうございました。



さて、12月10日は世界人権デーです。そこで本校では今週12月5日(月)から9日(金)までを第2回校内人権週間として、人権に関連する様々な学習や講話、人権に関する生徒作文の発表などを行いました。

今回の人権講演会もこの取組の一つとして実施されたもので、宇都宮大学共同教育学部准教授の方を講師に、オンラインで「多様な性と人権」を演題として、「多様な性」とは何か、「人権」とは何か、「当たり前を問い直すとは」ということについて講話をしていただきました。

以下は、講話資料からまとめたものです。

よくある質問から考える（「多様な性」についての質問）

・どれくらいの割合で「いる」のですか？

「LGBT」などを含む「性的マイノリティ」は、少なくとも人口の3.3%程度（埼玉県2022年調査*）と考えられます。

※埼玉県多様性を尊重する共生社会づくりに関する調査報告書 2021年から

栃木県の人口約191万人の3.3%は約6万3千人

・あったことがないのですが・・・

「私の周りにはいない」と言えるのは、あなたが隠させているということ

・家族や友だちだったら・・・

外国籍の人、障がいのある人、難病の人、高齢者、子ども、あなたの同僚、あなたの取引先、あなたの友人、あなたの家族など、いつでもどこで

もさまざまなセクシュアリティの人が共に暮らしています。あなたも「さまざまなセクシュアリティの人」のひとり。つまりこれは**さまざまなセクシュアリティを生きるみんなの問題**（渡辺大輔：埼玉大学 資料から）

人権って何だろう？「人権と性の絵本第4巻：性は人権なの？」（大月書店）から

人間はひとりひとりちがう。見た目も考え方も行動のしかたも、あなたとまったく同じ人間はいないよね。そして、だれもがみんな、一回かぎりの人生を生きているよ。どんな人生を送りたいかは、ひとりひとりが選んで決めていいんだ。それが「人間が人間らしく生きる」ってこと。

わたしたちの社会には、いろんな人間がくらしている。だれもが人間らしく生きることができるようにするために、国が用意しなければならないことを「権利」と言うよ。どんな人にも、生まれたときから絶対に守られなければならない権利があって、それを「人権」と言うんだ。国には、人権をかならず守る責任がある。

人権は「拡大」していくものである

情緒、好み、行動、外見、性自認、恋愛、結婚、出産、子育て、介護・・・

・・・「内面化」している（影響を受け、今度は影響を与えている）わたしたち
・・・誰一人同じ人、同じ生き方はないのに

**これまでより人権のことを少しでもよい状態にして
次につなげていく責任が私たち一人ひとりにはある
これまでそうやって積み重ねられてきた**

○この機会に、ご家庭でも人権の大切さについて話題にさせていただくようお願いいたします。

◇弁当の日、ご協力ありがとうございました

12月6日(火)は佐野市内一斉の「弁当の日」、保護者の皆様には当日はもとより、お子様と献立の検討、食材の買い物など、ご協力いただき、ありがとうございました。

「弁当の日」における中学生の具体的な目標は、先月通知した資料のとおり、保護者と一緒に弁当をつくることです。何人かの生徒に尋ねたところ、家族と一緒におかずを作ったり、おかずを弁当箱に詰めたりするなど、何らかの方法で弁当作りに関わったことが分かりました。



保護者のご負担も大きいとは思いますが、年に一度の「弁当の日」ですので、引き続きご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。